

また、群衆を見て深くあわれまれた。彼らが羊飼いのいない羊のようにさまよい、弱っていることに、弱り果てて倒れていたからである。

マタイの福音書 9 章 36 節

イエス様は群衆を見て、彼らが羊飼いのいない羊のようにさまよい、弱っていることをご覧になりました。

「深くあわれまれた」(36) という言葉は、原語のギリシャ語では「はらわたがちぎれるような痛みをもって人々を心配された」ことを現しています。罪の重荷に苦しみさまよう罪人を思う神の痛みです。これが罪人を救うために十字架にまで架かつてくださったイエス様の福音伝道の動機です。

では私たちが福音を宣べ伝える動機はどこから出てくるのでしょうか。

それは痛みを伴うほどのイエス様の愛と憐れみを自分自身が体験したことによりま

す。罪の中に沈んでいた私たちはイエス様と出会い、その深い愛と憐れみを知って救いに導かれました。それぞれの負っていたことや状況、導かれ方は様々ですが、イエス様の痛みを伴うほどの愛に触れて救われたことは同じです。この救いの恵みに感謝し感動するときに、人は主の思いを自分のものとし、罪に沈む人に福音を伝えたいと願う行動が生まれます。救いの恵みを過去のものとするのでなく、今その恵みに生かされていくことを知り続けるのが大切です。

そこから祈りと行動が生まれます。

イエス様は「働き手を送ってくださいるよう祈りなさい」(38) と仰いました。

人々が救いに導かれるには「働き手」が必要で、「働き手」からどんなことをイメージするでしょうか。牧師、伝道師、宣教師といった直接献身者も意味されますがそれだけではありません。一人の人が救いに導かれるためには多くの人の関りが必要です。信徒という立場で声を掛け、交わりをする人も大切な存在です。また、霊的な必要だけではなく、精神的なケアや生活の立て直しなど具体的な援助が必要な人には、それに応えるための働き手も必要です。教会内だけで完結できない場合は社会資源を活用する知恵を持った人も必要でしょう。

シオン創立者のエピソードを聞くと、その時代の人々の必要を捉えた働きが展開されたように思います。私たちも、今なにが必要かを主に祈り求め、この時代に御心を行うものでありたいと願います。(泰)

■第63回シオン霊修会（オンライン）

日程 9月19日（日）

講師 岩上敬人師（JEA総主事、

インマヌエル綜合伝道団）

テーマ「キリストのことばを豊かに」

配信会場 沼津シオン

【プログラム】

霊修会合同礼拝 10時半～

聖会Ⅰ

聖会Ⅱ

13時半～14時45分
15時半～16時45分

・すべてネット配信します。

・通常の礼拝と同じように、教会ホームページから視聴できます。

・登録・参加費は不要です。

※蒲田礼拝について

・第二礼拝は霊修会合同礼拝に合流。

・礼拝時間が変わります。10時半開始

・礼拝映像のネット配信も10時半開始。9時からありません。

・第一礼拝は、9時より、礼拝堂で、通常通り行います。説教 荻野牧師

※礼拝堂での視聴

礼拝、聖会はすべて、通常の礼拝と同様に事前予約の上、定員を設けて礼拝堂で出席ができます。

ネット視聴が難しい方は礼拝堂にお越しください。

■講演会「グリーンフケア」

日時 10月3日（日）

14時～15時半

講師 有田モト子師

臨床心理士、横浜いのちの電話スパーバイザー

配信会場 蒲田シオン

・インターネットから視聴ください

（聖日礼拝と同じ要領です）

・インターネットが扱えないなど、希望者は礼拝堂での出席が可能です（人数制限あり）。教会まで電話・FAXでお申し込みください。

・参考図書をプリントでお分けしています。教会までご連絡ください。

【消息 報告】

・小学科アウティング 27日に3名の小学科メンバーが参加して萩中プールへ出掛けました。夏休み最後のひと時を一緒に楽しく過ごしました。大田区は9月1日から学校が始まります。お祈りください。

■教勢報告

* 8月29日

第1礼拝 18名

第2礼拝 11名

小学科ホザナ礼拝

小0名 中2名 高2名